

全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

インフルエンザ(新型インフルエンザ)情報

インフルエンザ患者数は県内の内科と小児科の医療定点(199か所設置)からの報告によるものですが、現在はほとんどが新型インフルエンザ患者と考えられています。インフルエンザの定点あたり患者数は **7.15人**(先週 3.61人)とさらに増加しました。

先週までの患者数は県南東部で多くなっていましたが、今週は流行がさらに拡大し、伊丹保健所管内及び西宮市で定点あたり患者数がそれぞれ12.50人及び10.43人と注意報基準である定点あたり10人を超えました。

患者の年齢分布は10歳未満が37%(先週37%)、10歳代が56%(同51%)、20歳以上が8%(同13%)となっており、10歳代の患者が全体の半数以上を占めています。

県内の学校でのインフルエンザによる学級閉鎖等の状況は、休校3校、学年閉鎖23校及び学級閉鎖142校の合計168校(前週は99校)に増加しました。このうち小学校が106校と全体の63%を占めています。社会福祉施設等(保育所を除く)でのインフルエンザ集団発生状況は20施設(前週は16施設)とこちらも増加しました。詳しくは兵庫県のホームページの新型インフルエンザ記者発表資料をご覧ください。

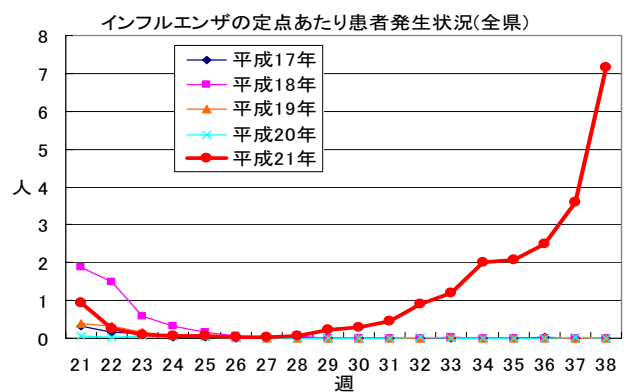
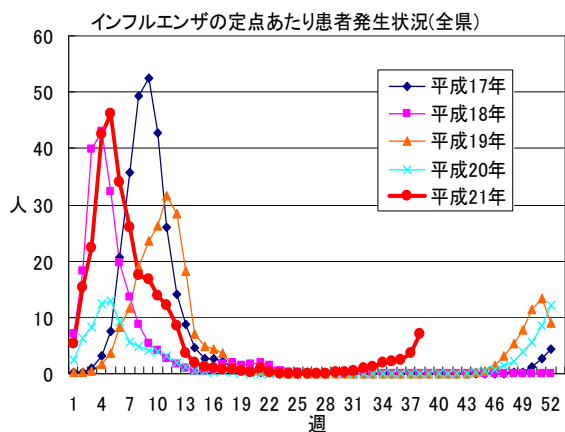
<http://web.pref.hyogo.jp/contents/000136586.pdf>

都道府県別では沖縄県及び大阪府にインフルエンザ流行の警報レベル(定点あたり患者数30人以上)の保健所が、北海道、岩手県、宮城県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、愛知県、滋賀県、兵庫県、和歌山県、広島県、福岡県、長崎県、鹿児島県(計16都道府県)に注意報レベル(定点あたり患者数10人以上)の保健所があります。

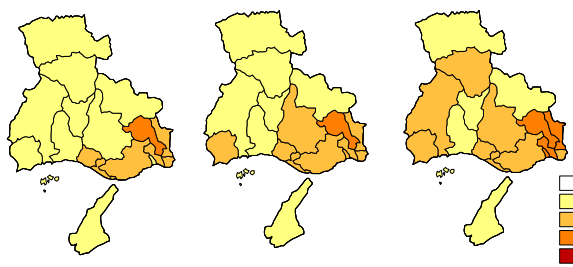
新型インフルエンザの本格的な流行は必至の状況となってきました。手洗い、うがい、咳エチケットの励行、マスクの着用など、インフルエンザに罹らない、広げない対策が重要です。また、感染が疑われる場合は早めの受診が重要です。受診に際しての注意点等は次のホームページをご覧ください。

<http://web.pref.hyogo.jp/contents/000136586.pdf> (兵庫県新型インフルエンザ記者発表資料)

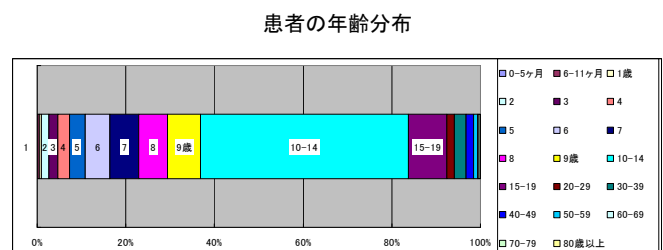
<http://web.qg.pref.hyogo.jp/hyogo/> (兵庫県医療機関情報システム)



(左のグラフの部分拡大図)



(例年の地域別患者数を基準に流行状況を色分けしています)



新型インフルエンザに関する情報は次のホームページ（HP）でもご覧ください。

- ・厚生労働省のHP (<http://www.mhlw.go.jp/>)
- ・厚生労働省：新型インフルエンザ最新情報
(<http://www.mhlw.go.jp/kinkyu/kenkou/influenza/index.html>)
- ・国立感染症研究所感染症情報センターのHP (<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)
- ・兵庫県 of HP：新型インフルエンザ対策について
(<http://web.pref.hyogo.jp/ac02/influenza.html>)

定点あたり患者数の上位10位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	インフルエンザ	7.15	3.61	+3.54	6位	流行性角結膜炎	0.47	0.40	+0.07
2位	感染性胃腸炎	2.75	2.86	-0.11	7位	流行性耳下腺炎	0.39	0.57	-0.18
3位	ヘルパンギーナ	0.76	1.13	-0.37	8位	手足口病	0.31	0.51	-0.20
4位	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	0.63	0.48	+0.15	9位	水痘	0.28	0.33	-0.05
5位	突発性発しん	0.57	0.63	-0.06	10位	マイコプラズマ肺炎	0.13	0.11	+0.02

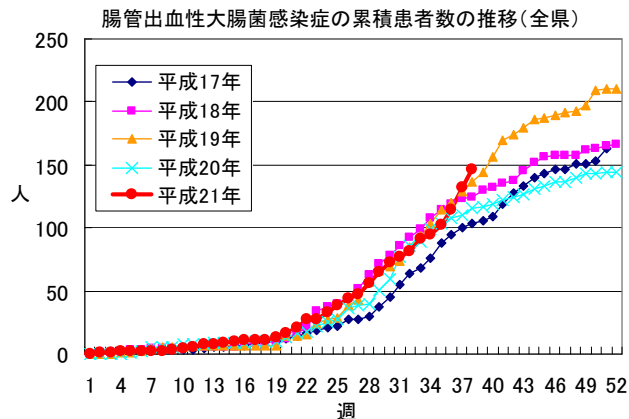
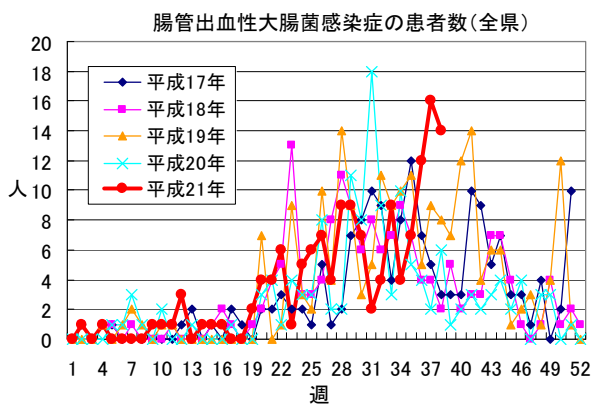
全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

1類感染症	報告はありません。
2類感染症	結核 27名 （神戸市8名、尼崎市8名、姫路市5名、西宮市1名、宝塚保健所管内1名、明石保健所管内2名、加古川保健所管内1名、龍野保健所管内1名）
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 14名 （神戸市；O157 VT1+VT2+ 1名、尼崎市；O157 VT1+VT2+ 1名、O157、姫路市；O157 VT1+VT2+ 1名、宝塚保健所管内；O157 VT1+ 1名、O157 VT1+VT2+ 1名、明石保健所管内；O157 VT2+ 2名、加古川保健所管内；O157 VT1+VT2+ 5名、VT型不明 1名、龍野保健所管内；VT1+VT2+ 1名）
5類感染症	梅毒 1名 （姫路市）
追加報告	結核 15名 （姫路市1名、宝塚保健所管内2名、龍野保健所管内2名、洲本保健所管内10名） ウイルス性肝炎 1名 （明石保健所管内） 梅毒 2名 （姫路市1名、宝塚保健所管内1名） 後天性免疫不全症候群 2名 （無症候性キャリア2名）

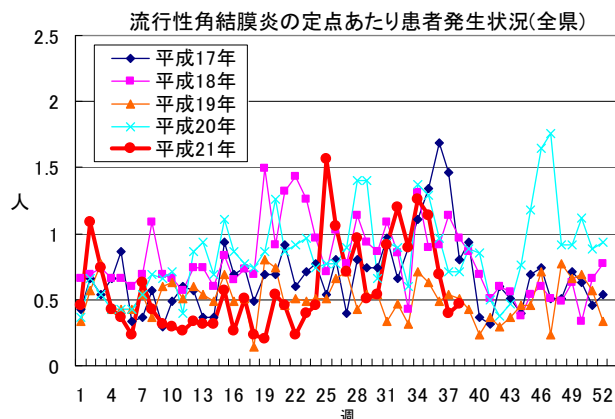
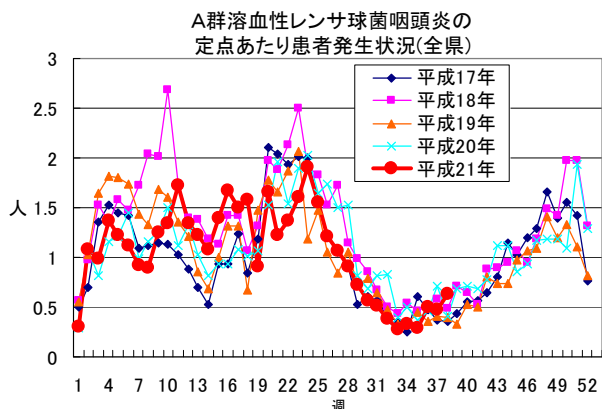
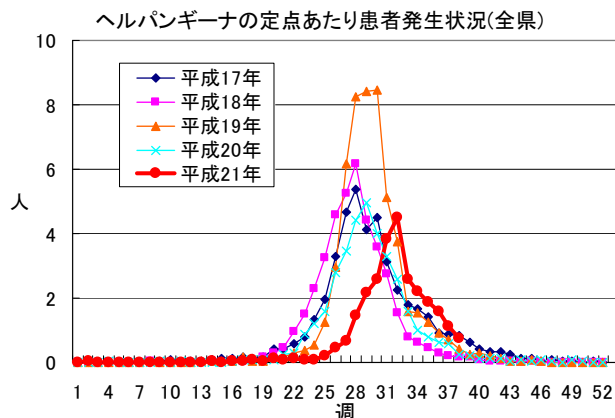
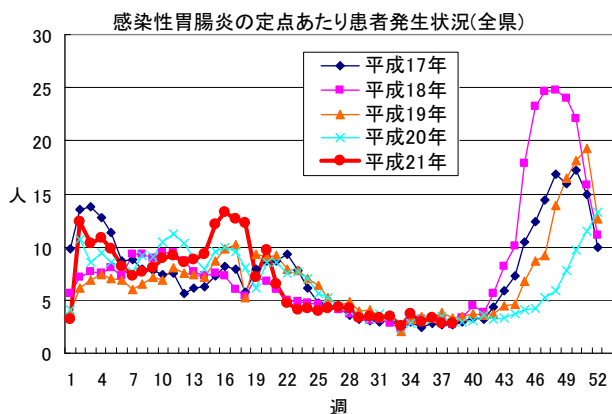
腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症の患者数が今週 14 人報告されました。第 38 週までの累積患者数は過去 5 年間で最も多くなっています。感染原因・感染経路では生レバーの喫食が 5 人、焼肉の喫食が 3 人報告されています。

例年夏場を過ぎても患者が多数報告されていますので十分な注意が必要です。食肉類は生食を避け、十分に加熱して食べることを、調理の際の衛生管理に留意すること、手洗いをしっかりとすることなどが重要です。



目で見える動向 (県内)



この週報は兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センターホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報(IDWR)がダウンロードできます。